



2021年9月13日

各位

会社名 株式会社丸千代山岡家
 代表者名 代表取締役社長 一由 聡
 (JASDAQ・コード3399)
 問合せ先 取締役財務経理部長 太田 真介
 TEL 029-896-5800

2022年1月期第2四半期業績予想との差異及び特別利益発生に関するお知らせ

2021年3月16日付「2021年1月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました、2022年1月期第2四半期(2021年2月1日～2021年7月31日)業績予想との差異が発生いたしました。また、2022年1月期第2四半期決算(2021年5月1日～2021年7月31日)において、下記のとおり特別利益が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期業績予想との差異
 第2四半期累計期間(2021年2月1日～2021年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,277	△5	10	2	1.02
実績値(B)	7,204	86	101	198	81.36
増減額(B) - (A)	△73	91	91	196	—
増減率(%)	△1.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期第2四半期)	6,648	△14	△4	△28	△11.88

2. 差異発生理由

2022年1月期第2四半期の売上高につきましては、概ね予想通りの着地となりましたが、時間短縮営業等に伴うワークスケジュールの効率化やその他店舗運営コストが計画内に収まったことなどから、経常利益は101百万円となりました。また、特別利益において、以下記載の通り2022年1月期第2四半期累計期間で助成金収入を183百万円計上したことなどから、四半期純利益は198百万円となりました。

3. 特別利益の発生とその内容

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴い、国及び地方自治体からの要請に従い、店舗休業及び時間短縮営業を実施したことにより交付された助成金等76百万円を「助成金収入」として特別利益に計上いたしました。なお、2022年1月期第2四半期累計期間の助成金収入は183百万円となりました。

4. 業績に与える影響

本日発表の2022年1月期第2四半期決算短信に記載のとおり、現時点で業績予想の変更はありませんが、今後の業績に伴い影響が見込まれる場合には、必要に応じて速やかに情報開示いたします。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上